

覽

軍務局

艦政本部

第一部

第三部

軍令部

佐鎮部

井出

號

一四二

一水雷艇真鶴、鶴公試成績表

壹部

右進達矣也

明治三十七年五月三十一日

海軍大臣勇將 本村兵衛殿

海軍鎮守府司令長官 齋藤 實

鎮守府司令官印

別紙様表

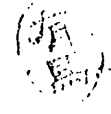
兵機部 在り

海軍

六三

印

艦政本部長



第一部長



部員



會計課長



副官



参事官

六生



大臣

三月廿二日 起案

次官



軍務局長



局員



經理局長



文書



考案 田 彦 案 一 季 武 送 封 姓 山 宛

官房第二〇五九號

海軍

用梅原丸製作方是之殿へ依託
 之件海軍省第二の部より照像之
 右末之部より照像之
 二部より照像之
 三部より照像之
 四部より照像之
 五部より照像之
 六部より照像之
 七部より照像之
 八部より照像之
 九部より照像之
 十部より照像之
 十一部より照像之
 十二部より照像之
 十三部より照像之
 十四部より照像之
 十五部より照像之
 十六部より照像之
 十七部より照像之
 十八部より照像之
 十九部より照像之
 二十部より照像之
 二十一部より照像之
 二十二部より照像之
 二十三部より照像之
 二十四部より照像之
 二十五部より照像之
 二十六部より照像之
 二十七部より照像之
 二十八部より照像之
 二十九部より照像之
 三十部より照像之
 三十一部より照像之
 三十二部より照像之
 三十三部より照像之
 三十四部より照像之
 三十五部より照像之
 三十六部より照像之
 三十七部より照像之
 三十八部より照像之
 三十九部より照像之
 四十部より照像之
 四一部より照像之
 四二部より照像之
 四三部より照像之
 四四部より照像之
 四五部より照像之
 四六部より照像之
 四七部より照像之
 四八部より照像之
 四九部より照像之
 五〇部より照像之
 五一部より照像之
 五二部より照像之
 五三部より照像之
 五四部より照像之
 五五部より照像之
 五六部より照像之
 五七部より照像之
 五八部より照像之
 五九部より照像之
 六〇部より照像之
 六一部より照像之
 六二部より照像之
 六三部より照像之
 六四部より照像之
 六五部より照像之
 六六部より照像之
 六七部より照像之
 六八部より照像之
 六九部より照像之
 七〇部より照像之
 七一部より照像之
 七二部より照像之
 七三部より照像之
 七四部より照像之
 七五部より照像之
 七六部より照像之
 七七部より照像之
 七八部より照像之
 七九部より照像之
 八〇部より照像之
 八一部より照像之
 八二部より照像之
 八三部より照像之
 八四部より照像之
 八五部より照像之
 八六部より照像之
 八七部より照像之
 八八部より照像之
 八九部より照像之
 九〇部より照像之
 九一部より照像之
 九二部より照像之
 九三部より照像之
 九四部より照像之
 九五部より照像之
 九六部より照像之
 九七部より照像之
 九八部より照像之
 九九部より照像之
 一〇〇部より照像之

0184

訓令案

一 二年一月式通封時山砲用梅原丸 五割四

但原山砲用梅原丸 四割四 部ノ除ク
中野老徳美 官ノ其ノ教旨

五トシテ金四拾五萬圓

右ノ旨付ル所ニ於テ是

セシマツル事ニ於テ是

保名ヲ轉換セシムル

但シ工部ノ案ニ詳細ノ知ハ大坂砲台

ニ於テ重接長工ノ教旨ハ未決ノ事

用ニ臨時ノ事ヲ及テ修理費ノ

支出前トス

昭和二年七月廿五日 大五

皇朝日本書紀

0186

2059

號

儲政本部

滿蒙二の四の辨

書名ニ據テ三十一条式速射砲山砲用招彈丸
 入用有るに就テ先般の舊式一と二と
 シテ同砲の身材料製造に依テ收り
 二種あり是れ軍工廠ヨリテ左記の負荷補
 製セシメラレシ根拠は是の及招彈丸
 の長三十七センチメートル

第一部長

陸軍大臣寺内正毅

陸軍大臣寺内正毅
 陸軍大臣寺内正毅
 陸軍大臣寺内正毅

追テ如文に承認ノ上ハ油類及該成ノ上ハ
 派方採ト撥款通款方等ハ總テ同卷分一

0187

六二六号、準源、根、谷、夫、前、P、作、如

一三十一、式、速、射、野、山、砲、用、極、原、丸

螺、野、山、砲、用、極、原、丸、

五、對、個

軍務局

供覽

艦政本部

第一部

第三部

第二部

海軍部

呉鎮第二〇七〇號

井出

進

達

一水雷艇鴻大砲公試祭射試驗成績

一水雷公試祭射試驗成績

一水雷公試成績表

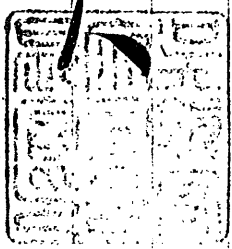
右及進幸手

明治三十七年八月十一日

呉鎮第二〇七〇號

海軍部主計課より七校長へ

毫初
毫初
毫初



別冊
左記成績表
兵機部
本

海軍

六九

0189

軍務局

継政本部

入高



大臣

電報

九月十三日

作保

第五号

大砲公試發射為午前八時出港成績長シ

好午九時三十分發射

三地點ニ向テ發射



Handwritten notes and stamps on the right margin of the document.

0190

電報送達紙

受信人住所氏名

カイノタニ

甘木

報局

指定

△ヨニ

記事

注意

受信人住所氏名

他人宛タル電報ノ配達ヲ受ケタルモノハ此由ヲ符箋シ直チニ此レヲ配達シタル電信局所へ返戻スベシ決シテ其受取本人へ直送シ又ハ手渡シスベカ

区
川
川
川
川
川
川
川
川
カ
マ
水

局
取
扱
所
番
号

五
分

五
分

五
分

五
分

五
分

大
人
の
早
ト
コ
イ
ホ
の
夕
ク
オ
エ
ソ
ク
ニ
マ
ケ
エ
ク
ホ
タ
又
ア
コ
フ
イ
ヤ
キ
ス
エ
フ
シ
エ
ク
六
五
五
ハ
カ
ニ
ヘ
カ
ハ

0191

洪寬

軍務局

艦政本部

第一部長

海軍第五十六號ノ一九

一假根據地開山甲乙砲台大砲公試發射成績表亮通
右進達候也

明治三十七年六月十四日

海軍鎮守府司令長官殿

海軍大臣勇將山本權兵衛殿

長官印

海軍鎮守府司令官印

海

別名簿表

兵部

0192

アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

http://www.jacar.go.jp/

三急

艦政部長 (印)

第一部長 (印)

部員 (印)

會計課長 (印)

副官 (印)

參事官 (印)

六五 漢新向

大臣 權

三十七年六月 日 起案

次官 (印)

軍務局長 (印)

員 齋藤 (印)

經理局長 (印)

主任 岡田 (印)

(印)

距離沿岸各用臺新造一件

官房第二一九號

九佃

0193

平徳橋長契湯程修考案陸上用

（毛）

式部省徳美重正白河内

右修時奉事聖上皇太后修程考案

星西少将考案修程考案

仰々考案

修程考案

理由 大木屋海軍考案ノ要本ニ因ル

海軍

距離測定器用器具

九四

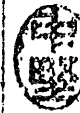
陸上甲七

加藤元航隊用卜子緊急製造、上同隊、送付方
以取計 加藤元航

五七五号百五

海軍省

軍務課 海軍部



0195

軍令部

軍務局

艦政本部

佐鎮

佐鎮第一號ノ一七、三

局員

水雷艇第六十番大砲公試發射成績表

右進達美也

明治三十七年六月十六日

海軍

海軍

海軍大臣官廳

海軍大臣官廳
長官印

第一中長
海軍大臣官廳

海軍

海軍

海軍

海軍

海

別名簿表

0195

艦政本部

軍務局

紙用記筆話電府守鎮賀須横

0197

明治三十一年 六月十八日 午前九時五十分 受 海軍省

武藏大砲隊試射來出
二子砲行人
口 錦山 爲

馬場

第一部

徳田

徳田

馬場

馬場

馬場

馬場

艦隊本部

軍司令部

第一部長

第三部長

會計課長



空軍の如く

大空軍

之を好む

鴻水宮公誠也其村に在りて

風信ら

電報送達紙

0199

官
別
品
(別
送
獨
在
人
)

局 著 受 信 送 務 者 L		局 發 第 次 月 日 時 分 字					名 氏 所 居 人 信 受 カ イ コ ウ	
時 分		報 指 定					名 氏 所 居 人 信 受	
		事 記					意 注 他 人 宛 送 電 報 の 配 達 を 受 け た る 者 は 其 由 を 付 録 し 直 ち 之 を 配 達 し た る 電 信 局 所 に 返 戻 す (ハ) 決 して 其 受 取 本 人 へ 直 送 し 又 は 手 渡 し せ ね ば 可 ぞ	
シ 二		第 一 月 三 日 七 時 三 分					番 號 第 一 號 著 信 局 日 附 印	

製局刷印月五年四十三治明

軍務局

電報中
了了了

第一部長

第二部長

第三部長
第四部長
第五部長
第六部長
第七部長
第八部長
第九部長
第十部長

軍令部

第十一部長
第十二部長
第十三部長
第十四部長
第十五部長
第十六部長
第十七部長
第十八部長
第十九部長
第二十部長

電報送達紙

0201

送

受

局 著		局 發				名氏所居人信受						
受信 當務者	電午 時分	電午 時分	電午 時分	電午 時分	電午 時分	電午 時分	電午 時分	電午 時分	電午 時分	電午 時分	電午 時分	電午 時分
	電午 時分	電午 時分	電午 時分	電午 時分	電午 時分	電午 時分	電午 時分	電午 時分	電午 時分	電午 時分	電午 時分	電午 時分
指 定						名氏所居人信受						
事 記						名氏所居人信受						
番 號						番 號						
第 九						第 九						
號						號						
印 附 日 局 著						印 附 日 局 著						

注意: 他人へ宛たる電報の配達を受けたる者は其由を付箋に直ち之を配達したる電信局所に返戻すべし決して其受取本人へ直送又は手渡すべからず

製局刷印月五年四十三治明

軍務局

供覽

艦政本部

軍令部

第一部

第四部

吳鎮第一九八七

局

海

軍

進達

水雷船

大砲公試發射試驗成績報告

一部

水雷公試

發射試驗成績報告

一部

汽走力公試

成績表

一部

旋回力公試

成績表

一部

右及報告候也

明治三十七年六月

吳鎮守府司令長官 柴山 矢八

海軍大臣 山本 権次郎 殿

備忘録
海軍省
艦政本部
第一課
第一課長 柴山 矢八
第一課長 柴山 矢八
第一課長 柴山 矢八

海軍省
艦政本部
第一課
第一課長 柴山 矢八

廣務局

供覽

艦政本部

有馬

第一部

舞鶴第八一八號

報告

軍艦比叡搭載一尹諾典内筒砲 六門

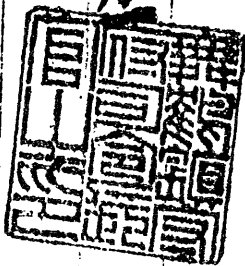
西洋番號四七、四八、四九、五〇、五一、五二、

右膽中検査施行候處更ニ異状ノ發生ヲ
認メ候條此段及報告候也

明治三十七年六月九日

舞鶴鎮守府司令長官日高壯之丞

海軍大臣男爵山本權兵衛殿



海軍

0204

軍務局

海軍

艦政本部

第一部長

軍務部

海軍第六〇三號

報告
第廿號水雷艇大砲膛中検査成績

一四拾七密米山内輕速射砲

壹門

右膛中検査施行セシメテ其成績別紙ノ通ニシテ別ニ異状ヲ發見セズ

及發射上差支ナキモノト認メ矣條此致及報告矣也

明治三十七年六月十日

横濱賀屋町海軍工廠長官島野井上良馨

海軍大臣島野山本權兵衛殿



海軍工廠長官島野井上良馨

0205

供覽

軍務局

艦政本部

軍令部

佐鎮第

五

號

六

報告

一向後崎砲台

長崎側方砲台並香燒砲台

第六震天並水路嚮導守船豐川丸

第一節 大砲試發射成績別紙之通り有之候条此段報告

明治三十七年六月十五日

海軍省軍務局長官長官印

長官印

別紙係長官長官印

六九

皇

海軍省軍務局長官長官印

追一向後崎第一砲台構造第二砲台ト全一付試射試驗

0206

施行不致矣余子肯申添一也

海

0207

0208

報

送

令部濟

艦隊本部

紙

第一

受信人居所氏名

大正

七十五号水雷艇
成績良好

受信人居所氏名

水雷公試艇射二十日二十日施行

注意

他人へ宛タル報レハ送ラ受ケケルハ此山ヲ
符箋シ直チニ此レヲ配達シタル電信局所へ返戻ス
ベシ決シテ其受取本人へ直送シ又ハ手渡シスベカ
ラズ

六

事記

指定

報局

吳有招

第拾部

局 休 午 五 時 七 分

局 休 午 五 時 七 分

局 受 取 所

局 受 取 所

七五ス、(井)スソ、ヨ
工ニ、〇ニ、一ニ、四
七、ウ、イ、セ、キ、リ、ヨ、ウ
コ、ウ、ハ、ク、ヨ

吳有招

(味 齋 照 也)

紙用記筆話電府守鎮賀須横

明治三十六年 七月廿一日 午前八時 〇分受 海軍省

軍艦武藏 午前八時 大砲公試發射
 射 爲 鐘 山 向 出 港 セリ

艦政本部

軍令部

軍務局

第一部

源

榮

中堅

徳田

森

豊

山

森

印

印

0209

軍務局

供覽

政本部

軍令部

六月廿六日

海軍省

一級長

海軍省

海軍省

海軍省

海軍省

海軍省

海軍省

海軍省

海軍省

參謀長

副官

造艦部長

海軍省

海軍省

海軍省

海軍省

海軍省

參謀

軍艦射藏大砲公河谷射内績報告

軍艦射藏大砲公河谷射内績報告

館山沖に於て施行其成績別紙通

三有之委員此般報告は

明治廿七年六月廿二日

公河委員

海軍省中士田中龍三

海軍大尉安村介一

海軍中佐板内曾次郎

横濱鎮守府司令長官野澤井上良馨殿

海軍省

海軍省

成績表

0210

軍務局

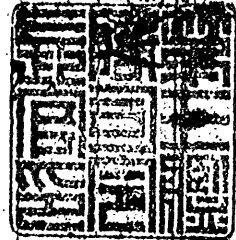
局長



第九七號



七月五日



七五

陸軍



第一部

會計課長

艇隊射擊報告

年月日

艇名

搭載位置及架砲數

摘

要

廿七年七月一日

四四号艇

前部五七架

四

成績良好

全

全

右部四七架

四

成績良好

右報告員也

明治廿七年七月四日

第三艦隊司令官片岡七郎殿

第三艦隊司令官片岡七郎殿

海軍

0211

電報局 送達 郵政本部

局着	局	送	報	名氏所届人信受
取受者 信受 午後 一時	付 午後 二時	送	報	
分	日	號	局	

東京電報局
 送達
 午後二時
 東京電報局
 送達
 午後二時
 東京電報局
 送達
 午後二時
 東京電報局
 送達
 午後二時

定額

名氏所届人信受

他人へ宛アル電報ノ配達ヲ受ケタルモノハ此山ノ
 料等ノ直ニ此レヲ配達トシテ電信局所へ送戻シ
 ベシ決シテ其受取本人へ直接シ又ハ手渡シラベカ
 ラズ

0212

軍務局

電

報

送

紙

紙

受信人住所氏名發局

受信人住所氏名
 發局
 報局
 號日
 時分
 局



Handwritten signature or name

受信人住所氏名
 發局
 報局
 號日
 時分
 局

他人へ宛たる電報ノ配達ヲ受ケタルハ、此由ノ
 發信ノ首ヲニ此レヲ宛テシテ電信局所へ送ル
 ンバ、其ノ取手人へ送ラセラルルコトナリ

白雲下地
 結分結果
 良好
 佐野の屋敷

0213

24

軍務局

供覽

艦政本部

第一部

會計課長

軍令部

佐欽弟

一

號

一九

進達

一軍艦白雲大砲公試發射成績表

右進達候也

明治三十七年七月廿四日

海軍大臣男爵山本權兵衛

海軍省軍務局

海軍省軍務局 庶務課長 佐欽弟 印

成績表紙裝部事務部兵務科在

海

軍

七美

0214

軍務局

六覽

艦政本部

軍令部

佐鎮第

五

局員

報告

第四十九號水雷艇大砲換裝付試
發射試驗施行別紙成績表付通
り通知有之候条此殿報告候也

明治三十七年八月廿三日

佐世深鎮守府司令官 飯島

第一部長

海軍大臣 男爵 山本 權兵衛 殿

次長

作戦課

海

別紙成績表

軍

八美

0215

軍務局

供覽

解送

海軍本部

第一部長

局長

局員

第... 四... 七...

八月十四日進達

参謀長

第拾六號水雷艇供用兵器修理工事日教報告

第一拾八號水雷艇用朱式魚形水雷(三三三六) 志個

右吳水雷團長代理請求に係ル修理工

事八月二十二日着于九月十日ヲ以テ竣

豫定ニ付此段報告候也

明治三十七年八月十三日

吳海軍工廠長 山内萬壽

品部 海軍工廠

海軍大臣 野澤 山本権兵衛殿

明治三十七年八月十三日

0216

軍務局

供覽

陸軍部

第一節 明治三十七年八月廿三日

八月廿四日進達

海軍大臣男爵山本權兵衛

局長

海軍工廠長

副官

第一節 第七號水雷艇供用兵器修理工事日子報告

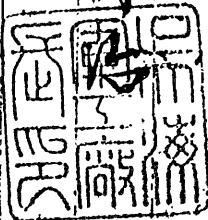
一 第七號水雷艇用兵器蓄積外誌

方 吳水雷團長代理請求修理工事八月廿三日着

手 八月三十一日以下竣工豫定付以紋報告候也

吳海軍工廠長 山内萬壽

海軍大臣男爵山本權兵衛 殿



八月廿四日

0217

軍務局

供覽

艦政本部

第一部長

海軍大臣

吳工第四三〇九號

八月廿七日進達

第六號水雷艇供用兵器修理工事日子報告

第六號水雷艇供用兵器修理工事日子報告

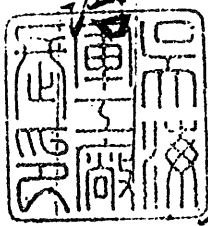
右水雷艇長代理請求修理工事八月二十三日

着手修理三月三十一日以後工ノ豫定ニ付テ故報告候也

明治三十七年八月二十五日

吳海軍工廠長山内萬壽治

海軍大臣男爵山本權兵衛殿



海軍

0218

2616

軍務局

供覽

吳丁白 三二二

八月廿八日

豫拾三號水雷艇供用兵器修理工事

日得報

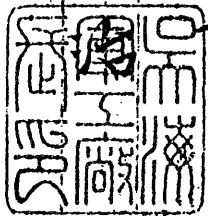
一、豫拾三號水雷艇用兵器固老奈射管外五五席

右吳水雷團長代理請求ニ條、修理工事ハ八月二十三日

着手九月十日ヲ以テ竣工ノ豫定ニ條、余共啟報告候也

明治三十七年八月二十七日

吳海軍工廠長 山内萬壽



海軍大臣男爵 山本權兵衛 殿

吳鎮第二六二七號

海軍

受 八月廿七日

0219

軍務局

供覽

艦政本部

會計課長

第一部長

九月一日進達

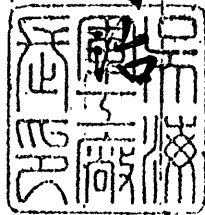
付員

第十一号水雷艇供用兵器修理工事日子報告

一第十二号水雷艇用空氣壓搾機等筒及管子全部外五庫
右吳水雷團長代理請求二條ノ修理工事ハ八月二十三日
着手九月十日竣工後是ニ候余共報告候也

吳海軍工廠長山内萬壽

海軍大臣男爵山本權兵衛殿



鎮守府
九月一日

0220

九五

軍務局

局員

局長

検査官

九月九日

進達

工廠長

副官

軍艦音羽大河奉射所績報告

軍艦音羽大河公河奉射所本月三日及五日兩日
安慶岡館山沖に於て施行せし其成績を
表すに因り付及報告す

明治三十七年九月七日

第一部長 軍艦音羽公河奉射所

海軍造兵部長 田中新一

海軍大尉 金田秀吉郎

海軍大佐 有馬良橋

横濱鎮守府司令官長官中尉丹上良毅

令部

海軍

0221

軍務局

供覽

監本部

第一部長

兵工第四局

九月十日

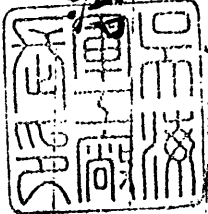
參謀長

第三十七號水雷艇供用兵器修理工事日子報告

一、第三十七號水雷艇用兵器番魚形水雷浮沈操航機ノラントバルブ修理
右、吳水雷局長代理請求ニ係リ修理工事ハ九月十二日着手本
年十月三十一日ヲ以テ竣工ノ豫定ニ付其故報告候也

明治三十七年九月九日

吳海軍工廠長 山内萬壽海



海軍大臣男爵山本權兵衛 啟

受領 九月九日

0222

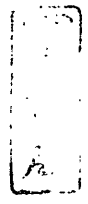
27/10

供覽

艦政本部

第一部長

會津副官



司令官

局員



受九月七日

興工第四四三〇號ノ十二

九月二十二日

第十八十九號水雷艇供用兵器修理工事日子報告

一第十八號水雷艇用發射管維持器 急下所外四庫

一第十九號水雷艇用中央發射管電路全部 外八庫

本吳水雷團長代理請求、係ハ修理工事日子

ハ各九月九日着手、今日十八日ハ了後、上機是

ニ付、以段報告候也

明治三十七年九月九日

吳海軍工廠長山内萬壽



海軍大臣男壽山内精兵衛殿

海軍

0223

供覽

軍務局

艦政本部

九月十二日進

海軍省 軍務局 艦政本部

工廠長

參謀長

造兵部長

參謀

副官

検査官

横濱分社印刷

軍艦龍田公試發射成績報告

軍艦龍田大砲公試發射本月二日及四日兩日安

房國館山沖之於之施行候處其成績別表

通之付及報告供也

明治三十七年九月 日

軍艦龍田公試委員

海軍造兵大技士 田中龍三

海軍大尉 小山田繁藏

海軍中佐 金屋忠道

横須賀鎮守府司令長官 男 壽井上 良馨 殿

海軍

別 第... 表... 公試... 表...

0224

供覽



軍務局

艦政本部

第一



九月七日

吳工務局

水雷艇第廿六号及福護供用兵器修

理工事日子報告

一第廿号水雷艇用空氣壓縮機壹基

九月十日工事着手 九月十八日竣工

一第廿六号水雷艇用銅製裝氣管外貳基

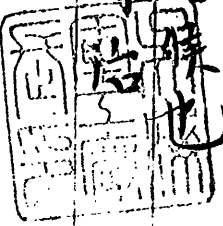
一水雷艇福護用銅製裝氣管外四基

九月十七日工事着手 九月三十日竣工

水雷艇長心得請示係兵器修理工事早豫定報告

明治三十七年九月十三日 吳海軍工廠長山内萬壽

海軍大臣 男爵 山本權兵衛 殿



吳工務局
九月十四日

海軍

0225

艦政本部長

有馬

第一部長

部員

田園

會計課長

副官

田園

井出

參事官

九十九

大臣

三十七

九月十六日迄案

次官

田園

軍務局長

田園

經理局長

田園

田園

田園

田園

田園

海軍第一〇三〇号様事係ル者

官房第三八四號

母

官

九十九

0226